

共同化で生活安定

先進地に學べ 忘れ勝ちな人間育成

金木中学校長 今 長 七



前任地相馬村の議員、公が、岡山県その他の先進地を視察したの

が、整備されていることで、進んで来た。学校の施設、設備は勿論のこと、公民館活動(社会教育)など実に立派に運営されている。しかも、その先進地の当業者の言葉として金木物は勿論大切である。しかし、これを使う人間の育成を忘れてはならない。教育が諸々の施設に優先することを念頭に置いて、色々の事業計画すること、これは、金木の子弟は救われない。

統計基盤の村づくり

喜良市陸生活 今 きね
改善クラブ会長

新しい町づくりは、百年の計である。大計であつて、「十年後にどうなるか」ということ、計的調査によつて提え、これを解決する合理的な方法を発見して、綜合した力を充分發揮する態勢をつくらねばならない。金木町では、農業者中心のものではない。商業者中心のものではない。用出来る様にすること、採原野は自然のままに、農産物は一般に生産過剰の状態になつて来ており、勿論、生産物価格と国民所得の関係から来るものをあげ、競争が極めて激しくなつて来てゐる。このこと、(一)適地適産、(二)長い間の統制で、安心をもち、(三)増産に努めておれ、この土地の条、(四)よかつた米でさえ、近い、(五)輸入を必要としない、(六)なげればなりません。

農産物は生産過剰

共同利用と計画経営で

農産物は一般に生産過剰の状態になつて来ており、勿論、生産物価格と国民所得の関係から来るものをあげ、競争が極めて激しくなつて来てゐる。このこと、(一)適地適産、(二)長い間の統制で、安心をもち、(三)増産に努めておれ、この土地の条、(四)よかつた米でさえ、近い、(五)輸入を必要としない、(六)なげればなりません。

國有林の活用を

振興計画に期待
金木営林署長 小林 一良



この機会に國有林の管理の活用、林野整備による土地の合理的集約利用、農地未墾地所屬替、さらに公有林野に対する官行造林の実施等があつて、これら諸種の活用による地元産業の振興に、さかになりとも寄与してゐるものと自負してゐる。

この機会に國有林の管理の活用、林野整備による土地の合理的集約利用、農地未墾地所屬替、さらに公有林野に対する官行造林の実施等があつて、これら諸種の活用による地元産業の振興に、さかになりとも寄与してゐるものと自負してゐる。

新農村建設だより

金木町 産業課

小規模共同土地改良 規模共同土地改良事業の事業の機械揚水は、固定するが、共同利用農具に準じて、早ばつ時に揚水が不足する(補助率五割以内)とき、臨時に移動して機械の対とされることがある。揚水するための揚水機は補助、これに対する補助助の対とされるか。また、融資の取扱いは「共同利用(その他共同利用)」の取扱として、融資の貸付を行うこととしてゐる。

新しい村づくりは

農事センターから
嘉瀬四日クラブ 長 沢田 忠勝

農業も色々な点で改良され、近代化された。百姓には毎日新しい技術と知識が必要とされて来ます。そう考へる時に若い人々の考へはまだ足りない。若い人達がその技術や知識の向上を計り、修得する早道はグループ活動が最もよいと思ひます。

和牛で無畜農を解消

草資源の開発を望む
金木地区家畜 衛生保健所長 盛田 慎蔵



畜産が無視した機械農業が小さな農業に不利なことは勿論のこと、地方の消費した農産物の産出が減少すること、肥料の産出が減少すること、さらには重大と云わなければならない。

畜産が無視した機械農業が小さな農業に不利なことは勿論のこと、地方の消費した農産物の産出が減少すること、肥料の産出が減少すること、さらには重大と云わなければならない。

種々の建築物である場合は、各種施設が相互に有機的関係をもつて利用されることとなつて行けるが、農事センターの一部に研修室、生活改善実習室などが含まれてゐる場合は、融資取扱いはどうしよう。

融資の取扱いは「共同利用(その他共同利用)」の取扱として、融資の貸付を行うこととしてゐる。

村づくり

日誌

- 七月二十三日 金木地区農村振興協議会組織会
- 八月十三日 金木地区農村振興協議会特別委員会組織会
- 九月十日 特別委員会
- 九月十四日 大東カ丘部落座談会
- 九月十五日 喜良市部落座談会
- 九月十六日 嘉瀬部落座談会
- 九月十九日 金木地区座談会
- 九月二十一日 川倉部落座談会
- 九月二十五日 部落計画委員会 藤田部落座談会
- 十月九日 藤田部落座談会
- 十月十六日 七日 東北プロツク村づくり大会 (秋田市)

火の用心

火の用心

